

別表 1

## 工事実施状況の検査留意事項

項 目	関 係 書 類	留 意 事 項
1 契約図書 の履行状況	契約図書 工事施工協議簿 その他関係書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計変更の実施状況</li> <li>・工事カルテの登録</li> <li>・施工計画書の提出時期</li> </ul>
2 施工体制状況	施工計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業分担と責任の範囲</li> <li>・施工体制台帳及び施工体系図の整備</li> </ul>
3 工事施工状況	契約図書 施工計画書 工事施工協議簿 その他関係書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計図書の照査の実施</li> <li>・施工計画書の則った施工方法</li> <li>・段階確認の適切な実施</li> <li>・文書による改善指示又は改造請求の有無</li> </ul>
4 工程管理	計画（実施）工程表 工事旬報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工程管理状況及び進捗内容</li> </ul>
5 安全管理	契約図書 施工計画書 その他関係書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令の遵守状況</li> <li>・安全教育研修・訓練等の実施状況</li> <li>・安全に関する請負人の取り組み</li> <li>・イメージアップの実施内容</li> </ul>
6 環境対策	施工計画書 その他関係書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺環境（騒音・振動・塵芥・水質汚濁等）への配慮</li> <li>・建設副産物の適正処理及びリサイクルへの取り組み</li> </ul>
7 施工管理状況	施工計画書 その他関係書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内検査体制及び品質管理体制</li> <li>・関係書類及び資料整理状況</li> </ul>
8 支給品及び貸与品	支給及び貸与に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支給、受領、使用及び返納の処理状況</li> </ul>
9 現場発生品	「生産物品報告書」等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生品の処理状況</li> </ul>

別表 2

## 出来形検査基準

工種	検査内容	検査密度
矢板工	基準高、根入長、変位 (仮設を除く)	施工延長 100mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 100m以下の場合は 2 箇所以上
法枠工、吹付工、植生工	法長、幅、厚さ、間隔、延長	施工延長 100mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 100m以下の場合は 2 箇所以上
基礎工	基準高、根入長、偏心量	1 基又は 1 目地間当たり 1 箇所 1 以上
石・ブロック積 (張)工	基準高、法長、厚さ、延長	施工延長 100mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 100m以下の場合は 2 箇所以上
路盤工	基準高、厚さ、幅	施工延長 200mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上 厚さは 1 kmにつき 1 箇所以上
舗装工	厚さ、幅、平坦性	施工延長 200mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上 厚さは施工面積 3,000 m <sup>2</sup> につき 1 箇所以上コアにより検査 ただし、施工面積 3,000 m <sup>2</sup> 以下の場合は 2 箇所以上
地盤改良工	基準高、厚さ、幅、延長	施工延長 200mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上
土工一般 (道路、河川)	基準高、法長、幅	施工延長 200mにつき 1 箇所以上
	堤間、低水路幅(河川)	ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上
	残土処理量、処理場所	
鉄筋組立	かぶり、平均ピッチ (重要構造物の主鉄筋を対象)	1 ロット当たり 1 箇所以上
護岸工 (河川)	基準高、法長、延長 (工種により) 厚さ、幅、高さ	施工延長 200mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上
根固工(根固ブロック、沈床、捨石)	基準高、厚さ、幅、延長	施工延長 200mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上
水制工	基準高、幅、方向、延長	図面の寸法表示箇所の任意部分について 1 箇所以上
浚渫(河川)	基準高、幅、延長	施工延長 100mにつき 1 箇所以上
樋門・樋管、函渠(管)、水門	基準高、厚さ、幅、高さ、延長	樋門・樋管、水門は本体部、呑吐口部ごとに図面の寸法表示箇所の任意部分について 1 箇所以上 函(管)渠は同種構造物ごとに 2 箇所以上
水門(金物)	部材寸法	主要部材(扉体・戸当たり)について、寸法表示箇所の任意部分について 1 箇所以上
	塗装被膜厚	主要部材の任意部分について 1 箇所以上
堤防護岸、突堤・人工岬、海域堤防(海岸)	基準高、幅、法長、厚さ、高さ、延長	施工延長 100mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 100m以下の場合は 2 箇所以上
浚渫、埋立、盛土等(海)	(地盤)高、(仕上がり)面積、断面	(仕上がり)面積 500 m <sup>2</sup> 以下は 2 箇所以上、面積 500 m <sup>2</sup> 以上は 500 m <sup>2</sup> につき 1 箇所以上
砂防ダム	基準高、幅、厚さ、延長	図面の寸法表示箇所の任意部分について 1 箇所以上
流路	基準高、幅、厚さ、延長	施工延長 200mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 200m以下の場合は 2 箇所以上
地滑り、急傾斜 (斜面对策)	基準高、幅、厚さ、高さ、延長	施工延長 100mにつき 1 箇所以上 ただし、施工延長 100m以下の場合は 2 箇所以上

工種	検査内容	検査密度
コンクリートダム 堤体工	天端高、天端幅、ジョイント間隔、 リフト高、堤幅、堤長	図面の寸法表示箇所の任意部分 (上記以外は各ジョイントにつき1箇所以上)
コンクリート擁壁 水路、側溝	基準高、厚さ、幅、高さ、延長	施工延長100mにつき1箇所以上 ただし、施工延長100m以下の場合は2箇所以上
橋梁下部	基準高、幅、厚さ、高さ、スパン長、 変位	スパン長は各スパンごと、その他は構造物1基ごとに図面の寸法表示 箇所の任意部分について1箇所以上
鋼橋上部	部材寸法	
	基準高、支間長、中心間距離、 キャンバー	1橋につき3箇所以上
	床版、地覆の寸法	図面の寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上
	溶接及び架設による歪み	各スパンごと
	塗装被膜厚	主要部材について1箇所以上
コンクリート橋上部	部材寸法	主要部材について、寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上
	基準高、幅、高さ、厚さ、 キャンバー	1橋につき3箇所以上
	床版、地覆の寸法	図面の寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上
トンネル	基準高、幅、高さ、深さ、間隔、 延長	両坑口部のほか、 施工延長100m未満3箇所以上、 100m以上500m未満は4箇所以上、 500m以上1000m未満は5箇所以上、 1000m以上は200mにつき1箇所以上
	巻厚	
	坑内施設	図面の寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上
土砂(岩)床堀 (漁港)	仕上がり地盤高、延長、幅	延長方向50mにつき1断面以上
	法勾配	岩盤床堀法面については、1箇所以上
基礎工 消波工(根固 工) (漁港)	仕上がり天端高、法勾配、延長、 幅員	施工延長100m未満は3箇所以上、 100m以上は50mにつき1箇所以上
函塊・L型・方 塊・セルラーブ ロック 製作(漁港)	長さ、幅員、高さ、壁厚、垂直度	函塊について全函、 L方・セルラーブロックは5個につき1個以上、 方塊は10個につき1個以上
函塊・L型・方 塊・セルラーブ ロック 据付(漁港)	据付天端高、法線方向の出入、目 地間隔	施工延長100m未満は3箇所以上、 100m以上は50mにつき1箇所以上 (函塊等据付個数2個以下の場合はこの限りでない)
	仕上りの延長	
堤体工、上部工 (漁港)	仕上がり天端高、幅員、延長、法 線方向の出入	施工延長100m未満は3箇所以上、 100m以上は50mにつき1箇所以上 (施工延長20m未満の場合はこの限りでない)
係船柱及び防 舷材取付(漁 港)	天端及び取付高さ、取付位置、 取付間隔	図面の寸法表示箇所の任意部分について1箇所以上
その他構造物	工種に応じ、基準高、幅、厚さ、 高さ、深さ、法長、長さ等	同種構造物ごとに、構造物の寸法表示箇所の任意部分

注) 上記検査密度を標準とするが、工事内容を勘案し、必要に応じて検査密度及び実測の頻度を上げて検査を実施するものとする。

別表 3

## 品質検査基準

工 種		検 査 内 容	検 査 方 法
共 通	材料	品質及び寸法は、設計図書と対比して適切か	イ 観察又は品質証明により検査する ロ 場合により実測する
	構造物の機能	構造物又は附属設備等の性能は、設計図書と対比して適切か	イ 主に施工管理記録及び観察により検査する ロ 場合により実測する、又は実際に操作してみる
	土工	イ 土質、岩質は、設計図書と一致しているか ロ 支持力又は密度は、設計図書と対比して適切か	イ 主に施工管理記録及び観察により検査する ロ 場合により実測する
	基礎工	イ 支持力は、設計図書と対比して適切か ロ 基礎の位置、上部との接合等は、適切か	イ 主に施工管理記録及び観察により検査する ロ 場合により実測する
	無筋・鉄筋コンクリート	コンクリートの強度、スランプ、塩化物総量値、アルカリ骨材反応対策等は、設計図書と対比して適切か	イ 主に施工管理記録及び観察により検査する ロ 場合により実測する (シュミットハンマー等で確認)
路盤工	イ 路盤材料の粒度は、設計図書と対比して適切か ロ 支持力又は締固の密度は、設計図書と対比して適切か	イ 主に施工管理記録及び観察により検査する ロ 場合により実測する	
アスファルト舗装  (排水性舗装)	アスファルト使用量は、合成粒度、密度及び舗設温度は設計図書に対比して適切か  透水性試験の結果が設計図書の規格値を満足しているか	イ 主に既に採取されたコア及び現地の観察並びに施工管理記録により検査する ロ 場合により実測する  主に施工管理記録及び観察により検査する	
路床安定処理、 表層混合処理	締固の密度は、設計図書と対比して適切か	施工管理記録により検査する	

工 種	検 査 内 容	検 査 方 法
固結工	試験結果が設計図書の規格値を満足しているか	施工管理記録により検査する
アンカー工	イ モルタルの特性は、設計図書と対比して適切か ロ 設計アンカー力に対して十分か	イ 主に施工管理記録により検査する ロ 場合により実測する
補強土壁工	締固の密度は、設計図書と対比して適切か	施工管理記録により検査する
吹付工、 現場吹付法枠工	コンクリートの強度は設計図書と対比して適切か	施工管理記録により検査する
ロックボルト	イ モルタルの特性は、設計図書と対比して適切か ロ 引抜き荷重が設計図書の規格値を満足しているか	施工管理記録により検査する
溶接工	溶接にかかる各試験の結果が設計図書の規格を満足しているか	施工管理記録及び観察により検査する
場所打ち杭	コンクリートの強度は設計図書と対比して適切か	施工管理記録により検査する
ポステンPC桁	グラウトの特性及びプレストレス管理が設計図書と対比して適切か	施工管理記録により検査する
植栽工	高木、中低木の寸法は設計図書の規格を満足しているか	実測により検査する

注 施工管理記録には、品質証明書、試験成績書、工事記録写真を含む。